

JA全農ウィークリー

J A Z E N - N O H W E E K L Y

2面

「とちぎ和牛」産地へ
海外バイヤー招聘

(栃木県本部)

3面

高校生が育てた
「富富富」を学校給食に

(富山県本部)

Web版
JA全農ウィークリーは
こちらから



<https://www.zennoh-weekly.jp/>



配送先変更(住所・宛名)、
配布部数変更はこちら



<https://forms.office.com/r/yUWVHyVVtK>

News!

共同購入コンバイン提案活動で表彰式

3JAを表彰、最優秀賞担当者に栃木県・大垣さん

耕種資材部



JA表彰3JA、担当者表彰26人が受賞

全農は3月5日、共同購入機の第3弾となる共同購入コンバインにおける初年度の提案活動表彰式を岡山県岡山市で開催しました。優れた提案活動を行っているJAやJA農機担当者を表彰し、受賞者が活動事例を発表しました。

JA表彰は、共同購入コンバインの提案活動をJA役員が一体となって取り組み、優秀な成果を挙げた宮城県・JAみやぎ登米、山形県・JA庄内みどり、栃木県・JA全農とちぎしもつけ広域農機センターが受賞しました。

担当者表彰では、受注活動に成果を挙げたJA農機担当者として、最優秀賞にJA全農とちぎしもつけ広域農機センターの大垣剛志さん、優秀賞として全国のJA農機担当者25人が受賞しました。

受賞者からの活動事例として、生産者への部門横断によるJA一体となったPR活動や、圃場での実演活動、そして、低価格・性能などに満足する生産者の声なども発表がありました。

また、令和7年度に向けて、発表があった先進的な提案活動事例をJAグループ全体で広く共有・展開し、生産資材コスト低減につながる提案活動をJAグループが一体となって進めていくことを出席者全員で確認しました。

News!

「とちぎ和牛」産地へ海外バイヤー招聘

輸出拡大に向けて産地の取り組みや魅力をPR

栃木県本部



牛舎を視察する海外バイヤー

視察に訪れたのは、米国の有名ホテルレストランのシェフ、ジョセフ・レボヴィッツさん、同国の食肉輸入業者の日本産和牛肉担当ディレクター、ブレントナカマさん、同じく食肉輸出業者で、とちぎ和牛の輸出に携わる、ポール・道城さんです。

3人は、とちぎ食肉センターで処理施設を見学した後、鹿沼市の「とちぎ和牛」生産者である株永田牧場を視察し、牛の飼養環境や成育状況、餌の与え方などの説明を受けました。今回の視察は「とちぎ和牛」への理解を促進し、海外に向けた良いPRの場となりました。

今後も栃木県本部では、輸出に取り組む生産者への支援、安全な牛肉の輸出に向けた衛生管理、海外プロモーションやバイヤー招聘を通じたPRなどを通じ、「とちぎ和牛」を含む県産牛肉の輸出拡大に取り組んでいきます。



食肉センターの見学の様子

栃木県本部は2月18日、「とちぎ和牛」の輸出拡大を図る目的で、海外バイヤーらを招聘しました。とちぎ食肉センターや「とちぎ和牛」の生産現場を視察してもらい、産地の取り組みや「とちぎ和牛」の魅力を紹介しました。



アンバサダーに菊池雄星投手を起用

「いわて純情米」新CMをYouTubeで公開

岩手県本部



菊池雄星投手を起用した新CM

岩手県本部は、3月からMLB ロサンゼルス・エンゼルス の菊池雄星投手を「いわて純情米」アンバサダーに起用しました。3月10日に盛岡市内でアンバサダー発表会を行い、岩手県で撮影した新CMをお披露目し、YouTubeで公開しました。

菊池投手は米国からビデオメッセージを寄せ、「いわて純情米の魅力を発信していけるよう、そしてたくさんの方に食べていただけるよう、JAいわてグループの皆さんと一緒に盛り上げていきます」と意気込み

を語りました。

今回公開する2本の新CMは、「此処から、強くなるために」をコンセプトに制作し、菊池投手がプロデュースする岩手県花巻市の複合野球施設King of the Hill (K.O.H)で撮影しました。真剣なまなざしで練習に打ち込む菊池投手が、練習場のベンチで真っ白なおにぎりを頬張るシーンが描かれています。

厳しい自然環境にも負けずに、生産者のひたむきな想いによって、強く、美味しく育った「いわて純情米」が、成長を目指してチャレンジするすべての人のエネルギーに、という想いを新CMを通して伝えていきます。



高校生が育てた「富富富」を学校給食に

お米甲子園特別優秀賞のお米を提供、栽培も説明

富山県本部



「富富富」についての授業を実施

富山県本部は、富山県立入善高校の生徒が栽培した富山米「富富富」が、昨年12月に開催された全国農業高校お米甲子園2024で特別優秀賞を受賞したことをうけ、同校の地元入善町内の小中学校の2月の学校給食で、その「富富富」を提供しました。

この企画に合わせて2月14日に入善高校の生徒が入善小学校を訪れ、5年生の授業で「富富富」の特徴や栽培方法についてクイズを交えながら分かりやすく説明しました。また、自動操縦の田植機を使用した田植えや、ドローンを活用した葉色調査など、栽培の様子を動画で紹介しました。

さらに、JAみな穂の営農指導員が、乾燥・もみすり・検査・保管・精米など収穫後にお米を食べられるようになるまでの過程について説明しました。授業後の給食では、1年生から6年生の全校児童約260人がランチルームに集まり、高校生が育てた「富富富」をおいしそうに頬張りました。



「富富富」を頬張る子どもたち

富山県本部では、今後も若い世代に農業への関心を持ってもらえるような取り組みを進めていきます。

日本一輪車協会主催の全国大会に協賛

6大会で「ニッポンエール」商品を提供し選手を応援

広報・調査部

全農は2024年度に開催された日本一輪車協会主催の全国大会6大会へ協賛し、選手の皆さんを「ニッポンの食」で応援しました。

全農は2019年から日本一輪車協会主催の各大会に協賛しています。参加賞としてニッポンエールのグミやゼリーなどを提供し、選手たちを「ニッポンの食」で応援しています。

一輪車の競技種目はトラックレース、マラソン、演技(ソロ・ペア・グループ)、舞台演技など多岐にわたります。各大会には幅広い世代の選手たちが出場し、華やかな会場を沸かせました。

日本一輪車協会主催の全国大会(2024年度)

日程	大会名	会場
8月4日	全日本一輪車競技大会(ペア・グループ演技部門)	高崎アリーナ(群馬県高崎市)
9月15日	第10回全国小学生一輪車大会(演技部門)	円谷幸吉メモリアルアリーナ(福島県須賀川市)
10月5日	全日本一輪車競技大会(レース部門)	愛鷹広域公園多目的競技場(静岡県沼津市)
11月3日	全日本一輪車マラソン大会	大井川陸上競技場(静岡県焼津市)
11月23日	全日本一輪車競技大会(ソロ演技部門)	静岡市北部体育館(静岡県静岡市)
3月9日	ALL JAPAN Uni-dancing Competition	弘前市民会館(青森県弘前市)

「豊洲千客万来」で春ニンジンをPR

徳島県本部と県にんじん振興協議会、トンネルハウスも展示

徳島県本部



ブース横にトンネルハウスを設置

徳島県本部と徳島県にんじん振興協議会は3月15日、東京・豊洲市場に隣接する商業施設「豊洲千客万来」で、出荷最盛期を前に来場者に徳島県産春ニンジンを紹介しました。

会場では春ニンジンの販売や、にんじんジュースの試飲が行われました。徳島県独自の栽培方法であるハウス栽培を知ってもらうために、実際にトンネルハウスを設置し、多くの来場者の注目を集めました。

また、徳島の伝統芸能である阿波踊りも披露され、会場は大変にぎわいました。

「フラッグシップ輸出産地」4県本部認定

継続的な輸出への取り組みを評価、他産地の手本

山形県本部・長野県本部・滋賀県本部・岡山県本部



東北農政局の菅家秀人局長(右)から「フラッグシップ輸出産地」認定証を受け取る長谷川直秀山形県本部長(左)

山形県本部・長野県本部・滋賀県本部・岡山県本部は2月、海外の規制やニーズに対応しながら、継続的に輸出に取り組み、他産地の手本となる「フラッグシップ輸出産地」として、農林水産大臣から認定を受けました。

フラッグシップ輸出産地としての認定を受けることで、輸出産地としての信頼性が高まるだけでなく、農林水産省から情報発信や海外バイヤーとのマッチング支援などさまざまな形で支援を受けることができるようになります。

今回、山形県本部はリンゴ、長野県本部はブドウ、滋賀県本部は米、岡山県本部はブドウと桃で認定を受けました。

全農は今後も輸出拡大を通じて、生産基盤の維持・拡大と生産者の所得向上、国産農畜産物需給の安定化に取り組んでいきます。



世界カーリング選手権大会2025で 日本代表チームの食事をサポート



「おにぎり弁当」や「どんぶり弁当」を提供



おにぎり弁当を手に笑顔のカーリング女子日本代表チーム

©JCA ©JCA



どんぶり弁当を手に笑顔のカーリング男子日本代表チーム

提供した「ニッポンの食」



全農は、3月15日から3月23日まで韓国・ウィジョンブで開催された「世界女子カーリング選手権大会2025」と、3月29日から4月6日までカナダ・ムースジョーで開催された「世界男子カーリング選手権大会2025」に出場したカーリング日本代表チームの現地での食生活をサポートしました。【広報・調査部】



女子日本代表チームへ提供した「おにぎり弁当」



男子日本代表チームへ提供した和牛を使用した「どんぶり弁当」

JA Zenroh Weekly

特集

全農は日本代表選手の皆さんが海外遠征する際、現地の慣れない食事や環境、衛生面で苦労している実情を受け、2019年度から全農の海外ネットワークを活用し、現地での食事サポートを本格的に開始しました。

今回の世界女子カーリング選手権では、韓国・ソウルにある日本家庭料理店「由佳の家」の岩寄由佳オーナー（管理栄養士）と、管理栄養士の松谷紀枝子さん協力のもと、日本産米を使った「おにぎり弁当」を提供しました。

また、世界男子カーリング選手権では、料理研究家で管理栄養士のエダジュンさんを日本から派遣し、全農のグループ会社であるJA全農インターナショナル株式会社が輸出した和牛や日本産米を使った「おにぎり弁当

（昼食用）」と「どんぶり弁当（夕食用）」を提供。両大会とも、たんぱく質やビタミンの補給となるような副菜もつけました。

合わせて選手の皆さんの希望をもとに精米やインスタントみそ汁などの「ニッポンの食」も提供するなど、大会期間中の選手の皆さんを食で応援し

ました。

今大会で女子日本代表チームは1次リーグを4勝8敗の9位、男子日本代表チームは5勝7敗の9位で敗退という結果となりましたが、世界の強豪チームを相手に奮闘しました。全農はこれからも「ニッポンの食」を通じてカーリング競技を応援していきます。

選手コメント

女子日本代表チーム・近江谷杏菜選手

毎日楽しみになるようなさまざまなメニューのおかげと、日本産米の美味しいおにぎりで大会中の体力を支えていただきました。また、食事のタイミングや普段の食生活スタイルに合わせた個別のリクエストにも細やかにお応えいただき、非常に感謝しております！

男子日本代表チーム・柳澤李空選手

お昼のおにぎりは3種類あり、その内容も毎日変わるので食べ飽きず、どんぶり弁当はボリュームがありつつも野菜もしっかり入っており、栄養の面でもバッチリで、大会中体調を崩すことなく元気に試合をすることができました！



ニッポンエールプロジェクト協議会

第5弾「瀬戸内広島レモン」 太陽と海が育む 「広島宝物」を未来へつなぐ

全農は「ニッポンエールプロジェクト協議会」第5弾のテーマを「瀬戸内広島レモン」とし、協議会の参画メーカーとともに商品を開発・販売しています。今回、プロジェクトに参画したメーカーは(株)伊藤園、大関(株)、久米仙酒造(株)、チチャス(株)、ハウス食品(株)、(株)ピクルスコーポレーション、(株)不二家、山崎製パン(株)、協同乳業(株)、全国農協食品(株)の10社です。

【営業開発部】

「ニッポンエールプロジェクト」は、全農とメーカーおよび販売先が協力して、国産農畜産物のPRやキャンペーンを展開し、商品を通じて産地を応援する活動です。「ニッポンエールプロジェクト協議会」は、国産農畜産物の消費拡大や生産振興、フードロス削減に関わる企業が同じテーマで商品を開発・販売し、共同でPRやキャンペーンを展開することで産地を応援しています。

皮ごと使用できる 安全・安心なレモン

今回、同協議会では国産レモンに注目しました。作付面積は増加傾向にあるものの、海外からの輸入量は国内出荷量の7倍以上※です。そこで、国産レモンの価値を広くお伝えすることで、「国産レモン振興」を図りたいと考えました。

特に広島県は、国内のレモンの半分以上※を生産する一大

産地で、皮ごと使用できる安全・安心なレモンづくりを行っています。瀬戸内の島しょ部で作られる「瀬戸内広島レモン」は、太陽と海が育む「広島宝物」です。この宝物を未来へつなぐため、販売先の協力を得て「瀬戸内広島レモン」を使用した商品を販売し、新規就農者支援やレモンの生産拡大に取り組み産地を参画各社と共に応援します。

(※農林水産省統計)

(株)伊藤園 瀬戸内広島レモン



大関(株) レモンにこり酒



久米仙酒造(株) はっさく&レモンサワーの素



(株)不二家 パレットイエ(レモンタルト)



チチャス(株)

瀬戸内広島レモン
ヨーグルト



ハウス食品(株)

ご当地くだものフルーチェ
(瀬戸内広島レモン)





ニッポンエールプロジェクト協議会で湯崎知事を訪問し、瀬戸内広島レモンを使用した商品をPR



佐木島の鷺浦農園にレモンの苗木を植樹し、産地の活動を応援



「ニッポンエールまつり」で商品の試食・試飲と販売を実施

湯崎知事に商品紹介イベントで盛り上げ

4月2日には、同プロジェクト協議会に参画する各メーカーと広島県本部、JA広島果実連と共に広島県の湯崎英彦知事を訪問し、共同開発した各商品の紹介を行いました。4月11日には産地応援の取り組みとして、広島県の佐木島でレモンの苗木の植樹を行いました。植樹後には「瀬戸内

広島レモン」を使用した商品を生産者や産地の関係者と共に味わいながら交流を図りました。

4月12、13日には、アリオ亀有店（東京都葛飾区）とLECT（広島県広島市）で販売促進イベント「ニッポンエールまつり」を開催し、瀬戸内広島レモンの生果とともに各商品の試飲・試食と販売を行いました。瀬戸内7県を拠点とするアイドルグループ

「STU48」のメンバーや、広島県のご当地キャラクター「ひろくま」も登場し、クイズ大会やじゃんけん大会などのイベントも行い、会場を大いに盛り上げました。

全農は、今後も「ニッポンエールプロジェクト協議会」を通じて、産地応援に協力いただけるメーカーや販売先と共に、国産農畜産物の消費拡大や生産振興に取り組んでいきます。



全国農協食品㈱
瀬戸内産瀬戸内レモンゼリー



全国農協食品㈱
広島県産はっさく&レモングミ



㈱ビックルスコーパーレシジョン
カブの酢の物 (レモン風味)



大根の酢の物 (レモン風味)



洋風マリネ (たのレモンマリネ)



山崎製パン㈱
レモンのタルトケーキ
瀬戸内広島レモン



協同乳業㈱
フルーツソルベ
瀬戸内広島レモン



「瀬戸内広島レモン」
特設ホームページ

"のむヨーグルト 九州産ダブルキウイ" 新発売

「ニッポンエール」と「ファミラル」のコラボ商品第7弾

全農は㈱ファミリーマートとの協業の一環として、ファミリーマートのプライベートブランド「ファミラル」と全農ブランド「ニッポンエール」の第7弾コラボ商品「のむヨーグルト九州産ダブルキウイ」を共同開発しました。協同乳業㈱より、全国のファミリーマート(約1万6300店舗)で4月8日から販売しています。【営業開発部・酪農部】

※店舗によって取り扱いのない場合があります

「のむヨーグルト」コラボ商品は、これまでの累計販売数540万本を突破する人気シリーズへと成長しました。第7弾となる「のむヨーグルト九州産ダブルキウイ」は、九州産のグリーンキウイとゴールドキウイを使用し、果実をダイスカットすることにより、果実の食感を残し、素材そのままのおいしさを味わえる仕立てにしました。

全農とファミリーマートは、両者の強みや特色を生かした協業を通じて、魅力的な国産農畜産物の訴求と販売拡大に取り組んでいます。



のむヨーグルト
九州産ダブルキウイ

食感にこだわった 果肉入り飲料

発売



農協果実
ざくごろう国産林檎

農協果実
しゃりじゅわ国産和梨

ざくごろうリンゴ、しゃりじゅわ梨の 「農協シリーズ」新商品

全農と協同乳業㈱は全農グループが展開する「農協シリーズ」の新商品として、「農協果実 ざくごろう国産林檎」「農協果実 しゃりじゅわ国産和梨」を4月7日から全国の量販店で発売しました。【酪農部・営業開発部】

果肉の割合や大きさを工夫し、国産果実のおいしさと食感にこだわった果肉入りの果汁飲料です。日本初の新容器を採用し、果肉と飲料がバランスよく口に入るよう設計されているため、果肉と飲料が一体となった食感を楽しむことができます。

まるで果汁たっぷりの果実を食べているような感覚が味わえます。「ざくごろう国産林檎」は、国産リンゴを使用し、リンゴ特有の食感を楽しめます。「しゃりじゅわ国産和梨」は、国産和梨を使用し、和梨特有の「しゃりじゅわ」という食感が楽しめます。

JA全農の産地直送通販サイト
JAタウン ショップ紹介

ホクレン

北海道北部のJA北はるかで栽培されるホワイトアスパラガスは、下川町、美深町、音威子府村、中川町などで生産され、雪が残る4月から収穫が始まります。

特殊な遮光フィルムを使用し、99.9%日光を遮断したハウスで育てられ、土に触れることなく成長することで、えぐみがほとんどない真っ白なアスパラガスとなります。また、温度管理が行き届いた環境で育つため、病害虫の影響を受けにくく、安全に育てられています。秋の間にたっぷり栄養を蓄えたこのアスパラガスは、豊富な水分と強い甘みを持ち、シャキッとした歯応えが特徴的です。



北はるか産
ホワイト
アスパラガス

JA 北はるか ホワイトアスパラガス
2Lサイズ約1kg (ハウス栽培)
…4980円(税込み)
※4月中旬から発送開始



北はるか産ホワイトアスパラガス新箱

ご注文はこちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☑ shop@ja-town1.com